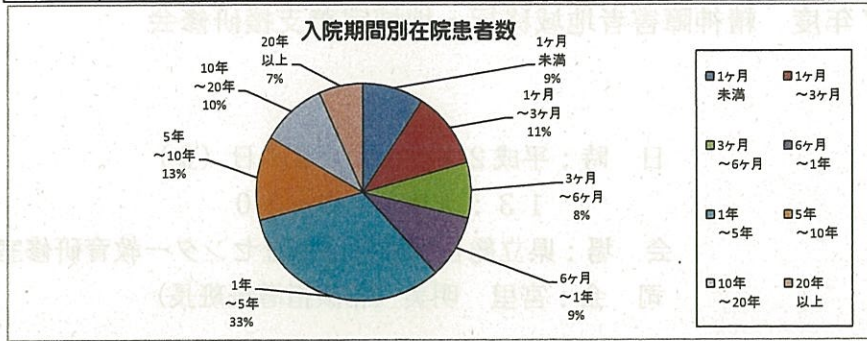


(4)入院期間別在院患者数

※平成25年6月末時点<出典 平成26年度精神保健福祉資料>

1ヶ月未満	1ヶ月～3ヶ月	3ヶ月～6ヶ月	6ヶ月～1年	1年～5年	5年～10年	10年～20年	20年以上	合計
462	572	416	476	1,641	632	500	333	5,032

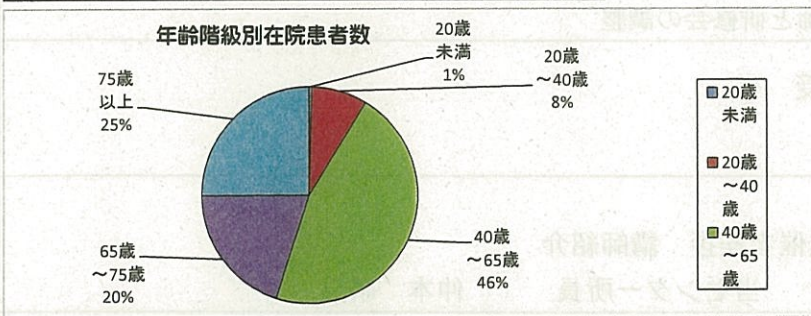


・入院期間別在院患者数は、1年～5年未満が全体の33%を占め、1年以上は、全体の約6割を占める。

(5)年齢階級別在院患者数

※平成25年6月末時点<出典 平成26年度精神保健福祉資料>

20歳未満	20歳～40歳	40歳～65歳	65歳～75歳	75歳以上	合計
23	418	2,324	1,005	1,262	5,032



・年齢階級別在院患者数は、65歳以上の患者が全体の45%を占める。

(6)入院期間の割合と退院率

※平成24年6月末時点<出典 平成24年度精神保健福祉資料>

	沖縄県	全国
H23年6月 1ヶ月間の入院患者数	568人	33,049人
その後1年間の退院患者数	494人	28,843人
退院率	87.0%	87.2%

・H23年6月末時点の入院患者の1年後の退院率は、全国が87.2%に対し、沖縄県は87.0%である。

(7)精神障害者の数

※ここでいう精神障害者とは、精神疾患で入院又は通院している患者を指す。

	患者数	通院患者	入院患者
H22	42,691	37,579	5,112
H23	43,809	38,767	5,042
H24	44,741	39,707	5,034
H25	46,618	41,586	5,032
H26	47,651	42,686	4,965

(病院月報:健康長寿課調べ) (単位:人)

- ・H22の通院患者は37,579人で、H26は42,686人である。(5,107人の増)
- ・H22の入院患者は、5,112人で、H26は4,965人である。(147人の減)
- ・H22の患者数全体は、42,691人で、H26は47,651人である。(4,960人の増)

(8)長期入院患者について

	短期入院患者	長期入院患者	合計
H22	1,986	3,126	5,112
H23	1,857	3,185	5,042
H24	1,837	3,197	5,034
H25	1,930	3,102	5,032
H26	1,917	3,048	4,965

(健康長寿課調べ) (単位:人)

※長期入院患者とは、1年以上入院しているものを指す。

- ・H22の短期入院患者は1,986人で、H26は1,917人である。(69人の減)
- ・H22の長期入院患者は、3,126人で、H26は3,048人である。(78人の減)
- ・H22の患者数全体は、5,112人で、H26は4,965人である。(147人の減)

平成27年度 精神障害者地域移行・地域定着支援研修会

日 時：平成27年11月27日（金）

13:30～16:30

会 場：県立総合精神保健福祉センター教育研修室

司 会：宮里 明美（相談指導班班長）

プログラム

時 間	内 容
11:00～12:00	講師と研修会の調整
13:00～13:30	受 付
13:30～13:35	主催者挨拶 講師紹介 当センター所長 仲本 晴男
13:35～15:05	講演「多職種連携による精神障害者地域移行・地域定着支援 ～クリニカルパスを用いた具体的支援～」 講師：愛知県桶狭間病院藤田こころケアセンター 院長 藤田 潔 看護師長 野中 英雄
15:05～15:15	休憩
15:15～16:25	クリニカルパスを具体的に作成してみよう！ 1) 事例紹介（講師提供） 2) クリニカルパス演習 3) 講師とディスカッション
16:25～16:30	アンケート記入

プログラム

平成 27 年度 沖縄県地域移行支援のための多職種合同研修

1日目 13:00~受付		
13:20~13:30 開校式 主催者挨拶 沖縄県障害福祉課 沖縄県精神保健福祉士協会		
	テーマ・講師	内容・獲得目標
13:30~14:30	講義 1 「なぜ、今、地域移行支援が必要なのか」 講師 東美奈子氏	精神保健医療福祉の状況を踏まえながら、地域移行支援・地域定着支援について概論のお話を致します。自らの実践へつなげるきっかけを見つけ出すことを目標とします。
14:30~15:00	講義 2 沖縄県の相談支援・地域移行の現状報告・分析 講師 国吉絵里子氏（沖縄県障害福祉課） 講師 岡部正文氏	沖縄県の状況について、客観的なデータをもとに現状を把握します。数値から見る沖縄の現状を分析し理解につなげます。
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:10	グループ討議 1 現場の課題抽出 講師 岡部正文氏 東美奈子氏	講義 2 を踏まえて、行政・医療・福祉の各現場の現状や課題を把握します。
16:10~16:40	全大会 1 講師 岡部正文氏 東美奈子氏	沖縄県における地域移行・地域定着支援の現状を共有し整理します。
2日目		
10:00~11:00	講義 3 退院支援から地域定着までの流れ 講師 岡部正文氏	地域移行支援・地域定着支援の制度的な流れや各機関の役割を理解します。
11:00~12:00	講義 4 事例から学ぶ 講師 東美奈子氏	講義 3 を踏まえて、実践事例から支援のコツや連携のヒントを理解します。
12:00~13:00	昼食	
13:00~13:50	グループ討議 2 模擬自立支援協議会 講師 岡部正文氏	一般的な事例から具体的な自立支援協議会における地域移行のイメージ共有を目標とします。
13:50~15:50	グループ討議 3 明日からの取り組みを考える 講師 東美奈子氏	「自らが所属する機関の役割」や「自らの役割」を再確認し、明日から具体的にどのように取り組むか、行動計画まで検討する。
15:50~16:30	全大会 2 講師 岡部正文氏 東美奈子氏	地域移行支援・地域定着支援に対する共通認識を持ち、他職種連携の必要性や役割を理解する。
16:30~	閉講式	

岡部 正文氏 一般社団法人 ソラティオ 代表理事

- 厚生労働省 相談支援従事者指導者養成研修 検討委員
- 厚生労働省 精神障害者保健福祉等サービス提供体制整備促進事業に関する研修業務 企画委員
- 一般社団法人 支援の三角点設置研究会 理事
- 福祉分野における各種ファシリテーション研修 講師



～講師紹介～

東 美奈子氏 訪問看護ステーション Relisa 管理者

- 山口県相談支援アドバイザー
- 日本精神科看護技術協会 理事
- 精神科認定看護師（退院調整領域）
- 日本相談支援専門員協会副代表
- “医療と地域をつなぐ”をテーマに精神科看護師や相談支援専門員の人材育成に関わっている



～講師紹介～

主催：一般社団法人 沖縄県精神保健福祉士協会

沖縄県より研修実施事業者として委託を受け研修を実施します

平成27年度 ピアサポーター養成研修

ファシリテーター：やんさか & 今ちゃん

午前の部 「知る」 9:30~12:00

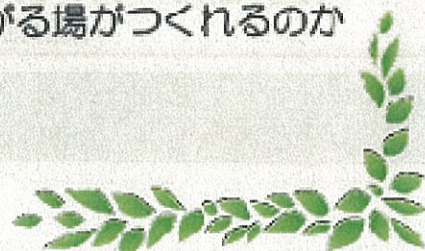
1. 開会式
あいさつ 沖縄県障害福祉課課長・沖縄県精神保健福祉協会会長
2. 「知る」 1.
ピアサポート活用事業の紹介 (60分)
ピアサポーター活用事業ってどんなことをしているの？
3. 「知る」 2.
ピア活動の紹介 (60分)
ピア活動をしている人たちの話を聞いていみよう

休憩 12:00 ~ 13:00

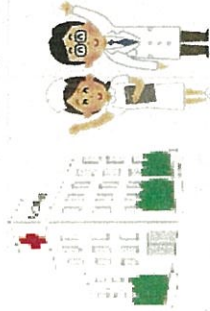
午後の部 「つながる」 13:00~16:30

4. 「出会う」 (50分)
元気に役立つ道具箱 (ワークショップ・WRAP)
はじめまして お互いの元気に役立つ道具箱を交換しよう
5. 「語る」 (45分)
ピアの魅力を語り合う (ワークショップ・PNPP)
ピアの魅力・良さ・可能性ってなんだろう
6. 「つながる」 (50分)
今日の出会いをこれからのつながりへ (ワークショップ)
ピア(仲間)とどーしたら出会い・語り・つながる場がくれるのか
7. 閉会式

*セッションの間には 15分程の休憩あり



新コーデイネーターを中心とした、精神障害者地域移行・地域定着支援の体制について



病院完結型支援 ⇒ 地域支援

- 1) 病院機能の明確化
 - ① 機能分化
 - ② クリテikalパスの導入
- 2) 組織的な退院促進の働きかけ
 - ① 退院促進委員会や地域移行支援室の設置
 - ② 長期・新長期入院患者の退院計画目標設定
 - ③ 職員意識の変革
- 3) 地域との連携強化



沖縄県精神障害者地域移行支援連絡協議会

◆ 目的等

県の精神障害者地域移行・地域定着支援事業の実施にあたり、医療・福祉の関係機関と行政が連携協働し、必要な意見を聴取する。

◆ 協議事項(案)

- 1) 地域移行・地域定着の推進
- 2) 圏域の自立支援連絡会議との連携(住まい・地域支援部会等)
- 3) 県の施策に関する協議 等

○ **地域移行ワーキング**

地域移行・地域定着支援の推進について機動的・専門的に協議することを目的に設置

○ **圏域自立支援連絡会議**

県自立支援協議会と市町村自立支援協議会のパイプ役としての第二段階の実務者レベルの会議

アドバイザー



県精神障害者地域移行支援連絡協議会

地域移行ワーキング

福祉保健所

- 1) 病院の現状分析と改善支援
- 2) 入院患者や家族への働きかけ
- 3) 病院・病院職員への働きかけ
- 4) 病院と地域資源との橋渡し

総合精神保健福祉センター

・ 医療従事者等への人材育成

県



保健師等

新コーデイネーター

平成27年度コーデイネーター

- (北部) 地域生活支援センターウェーブ 新垣 優一郎 氏
- (中部) 株式会社アソシア 伊井 統章 氏
- (南部) 県立精和病院 野中 美美 氏

医療機関と事業所等(地域)の接着

市町村
○ **自立支援協議会の設置と運営**

(地域移行・定着支援に関して協働する場の設置)

事業所

- ・ 個別支援 (地域移行・地域定着)
- ① 退院意欲を高める ② 退院後の生活支援



○ **平成27年度新コーデイネーターの役割(業務内容)**

・ 地域相談支援(市町村)と地域移行・地域定着支援の連携

- ・ 市町村自立支援協議会(部会等)への出席(各市町村ごとに自立支援協議会を活用したワーキングの設置に関する支援等)
- ・ **各圏域コーデイネーター同士の連携及び県の地域移行支援体制整備に関すること**
- ・ 県自立支援協議会の地域移行ワーキングへの出席
- ・ 圏域自立支援連絡会議への出席

長期入院精神障害者の地域移行・地域定着(退院し、地域で生活する)



○平成27年度実施状況

単位:千円

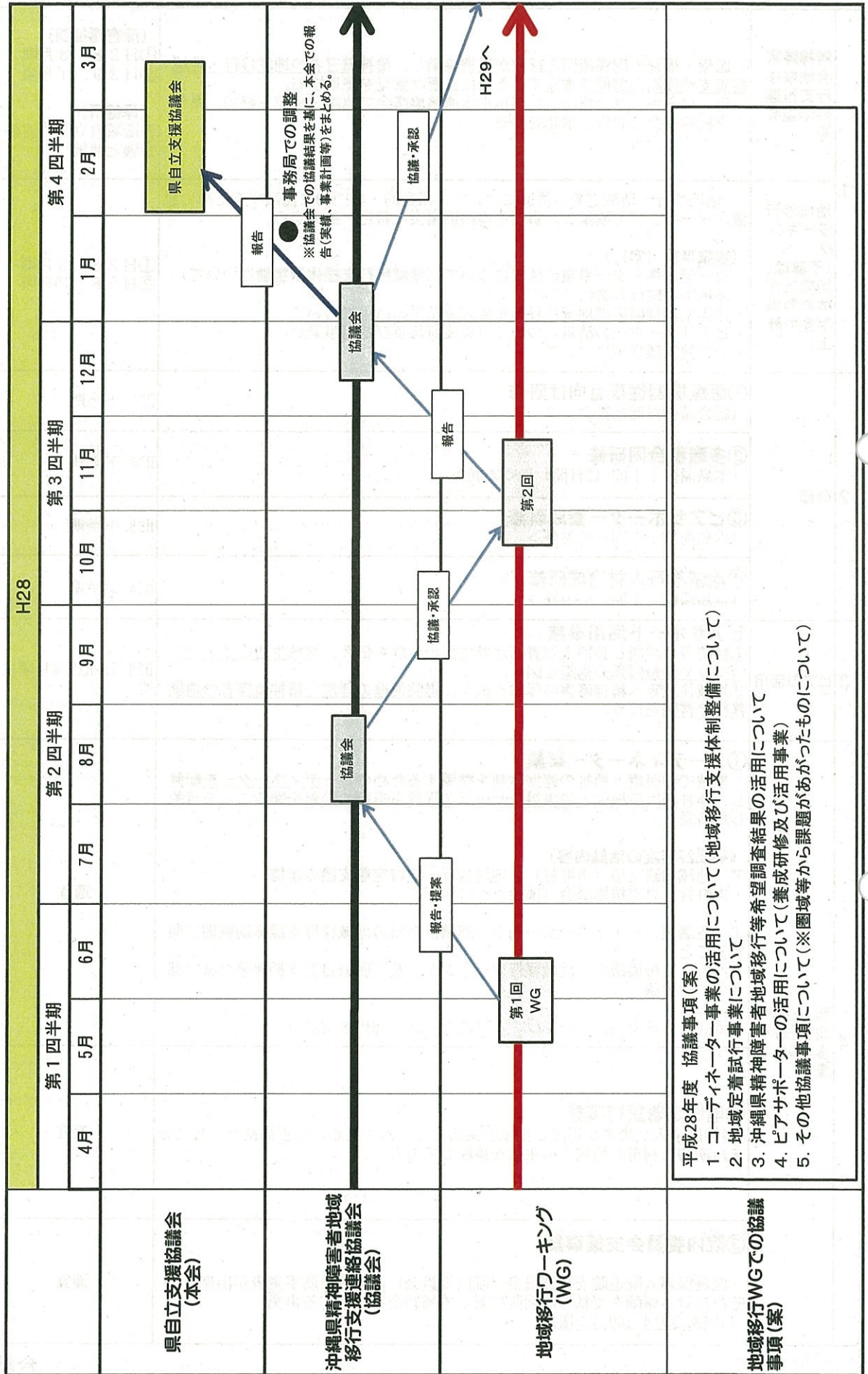
種別	内容	実施状況等	H27予算額
1	<p>精神障害者地域移行支援連絡協議会等</p> <p>医療・福祉の関係機関と行政が連携協働し、精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の整備を推進するために必要な意見を聴取する。 今年度より、ワーキングで協議した事項を本連絡協議会で協議・承認を経て、県自立支援協議会に報告、承認を得る。</p>	<p>(障害福祉課)</p> <p>①H27.10.27 ②H28.2.3</p> <p>(保健所)</p> <p>各圏域自立支援連絡会議と連携</p>	717
1	<p>地域移行ワーキング (予算は、相談支援体制整備事業で計上)</p> <p>地域移行・地域定着の推進について、機動的・専門的に協議するために設置。ワーキングで協議した事項を連絡協議会に報告・提案する。</p> <p>(協議事項(案))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行・地域定着の推進 ・圏域の住まい・地域支援部会との連携 ・新規採択された基金事業について ・ピアサポート活用事業等の効果的な運用について ・その他必要事項 	<p>①H27.9.24 ②H27.12.15</p>	0
2	<p>①医療機関従事者向け研修 (総合精神保健福祉センター)</p>	<p>開催日:11月27日 内容:クリニカルパスを用いた具体的支援 受講者:46名</p>	215
	<p>②多職種合同研修 (本島開催:1回(2日間))<委託></p>	<p>開催日:3月11~12日 募集定員:80名</p>	918
	<p>③ピアサポーター養成研修 (本島開催:1回)<委託></p>	<p>開催日:2月15日 募集定員:40名</p>	617
	<p>④地域移行人材育成研修 (本島開催:1回)<委託></p>	<p>開催日:1月22日 受講者:36名</p>	970
3	<p>ピアの活用</p> <p>ピアサポート活用事業</p> <p>①病院等を訪問し長期入院者へ地域生活の体験を伝え、地域生活のイメージづくりや信頼関係の構築を図る。 ②地域住民等へ精神障害の体験を伝え、退院促進の理解と精神障害者の地域移行の啓発を行う。</p>	<p>H27.5月~ H28.3月頃まで</p>	1,100
4	<p>①コーディネーター事業</p> <p>地域での医療と福祉の連携体制を整備するためのコーディネーターを配置し、精神科医療機関と障害福祉サービス提供事業所の接着を図ることを目的とした事業</p> <p>(平成27年度の活動内容)</p> <p>ア. 地域相談支援(市町村)と地域移行・地域定着支援の連携 ・市町村自立支援協議会(部会)への参画</p> <p>イ. 各圏域コーディネーター同士の連携及び県の地域移行支援体制整備に貢献すること ・県自立支援協議会(地域移行ワーキング)及び圏域自立支援連絡会議(部会)への参画</p> <p>※委託による実施については、1件あたり20,550円を支払う。</p>	<p>H27.9より本島3圏域に配置</p>	4,932
	<p>②地域定着試行事業</p> <p>精神障害入院患者が退院し地域で生活を行う為、実際に障害福祉サービス等を短期的に利用し地域での生活を体験してもらう。</p>	<p>現行の通りハ事業の対象者を入院患者まで拡大する等、関係機関と調整中 →各保健所の意見照会等が必要なため、引き続き地域移行ワーキング等で検討する。</p>	1,656
	<p>③院内委員会支援事業</p> <p>医療保護入院退院支援委員会(院内委員会)に地域援助事業者が出席し、それに対し報酬を支払った病院に対して補助金を交付する事業 (1回あたり4,200円を限度)</p>	<p>○申請数 7医療機 ○交付決定額 596,400円</p>	1,260
	<p>基金事業に係る事務調整及び研修等派遣費 等</p>		183
合計			12,568

(2)平成28年度の取組(案)

単位:千円

種別	内容	実施予定時期	H28予算額
1	<p>精神障害者地域移行支援連絡協議会等</p> <p>医療・福祉の関係機関と行政が連携協働し、精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の整備を推進するために必要な意見を聴取する。 尚、ワーキングで協議した事項を本連絡協議会で協議・承認を経て、県自立支援協議会に報告、承認を得る。</p>	<p>(障害福祉課)</p> <p>①H28. 8月頃 ②H29. 1月頃</p> <p>(保健所)</p> <p>各圏域自立支援連絡会議と連携</p>	648
1	<p>地域移行ワーキング</p> <p>(予算は、相談支援体制整備事業で計上)</p> <p>地域移行・地域定着の推進について、機動的・専門的に協議するために設置。ワーキングで協議した事項を連絡協議会に報告・提案する。</p> <p>(協議事項(案))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター事業の活用について(地域移行支援体制整備について) ・地域定着試行事業について ・沖縄県精神障害者地域移行等希望調査結果の活用について ・ピアサポーターの活用について(養成研修及び活用事業) ・その他協議事項について 	<p>①H28. 5月頃 ②H28. 10月頃</p>	—
2	<p>①医療機関従事者向け研修 (総合精神保健福祉センター)</p>	H28. 下半期	206
2	<p>②多職種合同研修 (本島開催: 1回(2日間)) <委託></p>	H28. 下半期	918
2	<p>③ピアサポーター養成研修 (本島開催: 1回) <委託></p>	H28. 下半期	617
2	<p>④地域移行人材育成研修 (本島開催: 1回) <委託></p>	H28. 上半期	2,352
3	<p>ピアサポート活用事業</p> <p>①病院等を訪問し長期入院者へ地域生活の体験を伝え、地域生活のイメージづくりや信頼関係の構築を図る。 ②地域住民等へ精神障害の体験を伝え、退院促進の理解と精神障害者の地域移行の啓発を行う。</p>	H28. 5~H29. 3月頃まで	1,000
4	<p>新たな財政支援制度(基金事業)</p> <p>①コーディネーター事業</p> <p>地域での医療と福祉の連携体制を整備するためのコーディネーターを配置し、精神科医療機関と障害福祉サービス提供事業所の接着を図ることを目的とした事業</p> <p>(平成27年度の活動内容)</p> <p>ア. 地域相談支援(市町村)と地域移行・地域定着支援の連携 ・市町村自立支援協議会(部会)への参画</p> <p>イ. 各圏域コーディネーター同士の連携及び県の地域移行支援体制整備に関すること ・県自立支援協議会(地域移行ワーキング)及び圏域自立支援連絡会議(部会)への参画</p> <p>※委託による実施については、1件あたり20,550円を支払う。</p>	適宜	3,080
4	<p>②地域定着試行事業</p> <p>精神障害入院患者が退院し地域で生活を行う為、実際に障害福祉サービス等を短期的に利用し地域での生活を体験してもらう。</p>	適宜	3,678
4	<p>③院内委員会支援事業</p> <p>医療保護入院退院支援委員会(院内委員会)に地域援助事業者が出席し、それに対し報酬を支払った病院に対して補助金を交付する事業 (1回あたり4,200円を限度)</p>	適宜	1,260
合計			13,759

平成28年度精神障害者地域移行・地域定着支援に関する事業計画（案）



平成27年度沖縄県精神障害者地域移行支援連絡協議会委員名簿

H27.6.19

NO	区分	所属	役職名	氏名
1	学識経験者	沖縄国際大学 (人間福祉学科)	准教授	知名 孝
2	医療関係者	沖縄県精神科病院協会 (平和病院)	会長	小渡 敬
3		沖縄県精神科病院協会 (天久台病院)	相談室長会 会長	中下 綾子
4		沖縄県精神科外来医会 (パークレーいむろ心のクリニック)	会長	伊室 伸哉
5		日本精神科看護協会沖縄県支部 (嬉野が丘サマリヤ人病院)	支部長	城間 清一
6		独立行政法人国立病院機構琉球病院	院長	福治 康秀
7		沖縄県立精和病院	精神科部長	宮川 治
8		那覇市 (障がい福祉課)	主幹	新川 智博
9	嘉手納町福祉課	係長	伊禮 満	
10	福祉関係者	地域活動支援センターミッドリンク (当事者関係)	所長	平田 嗣尚
11		一般社団法人沖縄県精神保健福祉士協会 (那覇市地域生活支援センターなんくる施設長)		兼浜 克弥
12		特定非営利活動法人おきなわ障がい者相談支援ネットワーク (地域生活支援センターウェーブ所長)	副理事長	安村 勤

沖縄県障害者自立支援協議会 地域移行ワーキング 名簿

	分野	氏名	所属・職名	備考
1	コーディネーター	新垣 優一郎	(特)名護市障害者関係団体協議会 地域生活支援センター ウェーブ 相談支援専門員/精神保健福祉士	北部圏域
2	"	伊井 統章	株式会社 アソシア ゼネラルマネージャー 精神保健福祉士	中部圏域
3	"	野中 美美	県立精和病院 地域連携室・医療福祉相談室 精神保健福祉士	南部圏域
4	医療関係者	中下 綾子	天久台病院 相談室長	連絡協議会等
5	"	福治 康秀	琉球病院 院長	"
6	福祉関係者	兼浜 克弥	那覇市地域生活支援センターなんくる 施設長	"
7	福祉保健所	知念 寿子	南部福祉保健所地域保健班 精神保健福祉グループ 主幹	保健所
8	圏域アドバイザー	安村 勤	(特)名護市障害者関係団体協議会 地域生活支援センター ウェーブ 施設長	北部圏域
9	"	津波古 悟	(特)なちゅら福祉ネット 広域相談支援センターfit センター長	中部圏域
10	"	溝口 哲哉	(福)若竹福祉会 地域生活支援センターEnjoy センター長	南部圏域
11	"	清水 聡	(福)ムサアザ福祉会 地域生活支援センターさぼーと 施設長	宮古圏域
12	"	津嘉山 航	(株)ゆにばいしがき 管理者	八重山圏域
13	当事者関係	金城 秋男	那覇ピアサポートネットワーク ピアサポーター	